

様々な人が入れ替わり立ち代わり出てゆくサロンのような「寄り合い」の場を軸に、ゆるやかにアーティストが地域に開き続けられる形を目指しています。アーティストと呼ばれる人たちの発想力は予測不可能なことがほとんど。でもだからこそ地域にとっては大きなヒントになると期待もしています。参加してみたい方、ぜひお待ちしております。

鑑賞者から主催者へ
 少しでも1つの関わりは「アートプラット/大井川」。こちらは「UNMANNED 無人駅の芸術祭/大井川」の会期中に同時開催する、「市民参加型の文化祭」です。アートへの関わりは鑑賞することももちろん楽しいけれど、もっと楽しめたい。それはそれが主催者になってみる。そのきっかけを作ろうと始めました。「生活の術全てが芸術」と考えているので、どんなプログラムでもOK！初開催の前回は約20のプログラムが実施されました。ものづくり、コーヒーや緑茶、ハイキング、歴史など様々なプログラムを多くの方に主催していただきました。次回も芸術祭会期に合わせて開催します。主催者になってみるのは勇気がいるけれど、企画から実現まで一緒に考えますのでぜひお気軽にご相談ください。詳細は下記にありますのでぜひ！鑑賞者から主催者へ。あなたのご参加お待ちしております。



UNMANNED 無人駅の芸術祭 / 大井川 でみつけよう。

「あなた×まち」の関わり方はどれ？

芸術祭って作品を鑑賞するための場？？いえいえ、そんなことはありません。芸術祭の主役はまちのみなさん。アーティストや来訪者との出会いが、まちをもっと面白く変えていくかも。あなたもメンバーに加わってみませんか？

関わり方①
オブジェ作品の里親になって、アートと一緒に生活してみる。
 作家さとうりさの2020年のプロジェクト「地藏まえ3サトゴシガン」が復活！ご家庭にオブジェ作品を約1週間ほど滞在させて頂き、その様子を撮った写真を提供。あなたも作品の一部に！

※プロジェクト詳細&参加は公式サイトから

UNMANNED 無人駅の芸術祭 / 大井川って？
 大井川 鉄道の無人駅とそこからひろがる集落を舞台とした地域芸術祭「UNMANNED 無人駅の芸術祭/大井川」。2018年から開始され、毎年3月に開催を重ねています。大井川 鉄道は20駅中16駅が無人駅。無人駅と呼ばれると何となくマイナスなイメージが付きまとうものですが、無人駅エリアには、今も豊かにいきいき暮らす人々、四季折々の美しい自然、集落の人たちが花植えをしたり、休憩所としておもてなしをしながらかつて活用したりと、実にたくさんの魅力にあふれています。

人達。様々な地域の要素が思いもよらない表現として作品になっていきます。坂里駅エリアに設置された「境界の遊び場II / ちやばらのカーテン (ヒデミニシダ、2021)」は、茶畑の風景とそこに吹く風を感じることで、集落の人たちの要望により会期終了後もその場に残されることとなり、日常的に人々を楽しませています。次回も来年2月〜3月に開催予定。かわしくは、公式サイトをチェック！

関わり方②
アーティスト達との「寄りあい」で地域のことを考えてみよう。
 アーティストの視点から地域の困ったや魅力を考えよう、と今年9月に「地域コレクティブ ARTDROPS」というゆるやかな「場」が誕生。芸術祭から飛び出した寄りあいの場、アーティストと一緒に考えたいこと、相談したいことの募集も始まりました。

※地域アジェンダの相談は公式サイトから

芸術祭から生まれたもの
 この芸術祭で一番大切にしているものは、多くの来場者を獲得することよりも、無人駅エリアに住む人たちの関わりによる変化。もちろん来場者の獲得も大切なですが、そこを最優先にしてしまうと、人気のある、または驚きのある作品を美術館から持ってくれば良い、という視点だけになってしまいます。そうではなく、この地での表現だからこそ意味があり、地域に根差した作品を芸術祭として発表することを大切にしています。

その中で主役と言っても良い存在なのが無人駅エリアに暮らす人たち。集落ごとに関わりの深さは様々ですが、アーティストとの交流や、作品が地域に設置されていく様子をおもしろがってくれるようになり、集落によってアーティストとの関わりが益々深くなっていきます。さとうと美術館には一度も行ったことのないおじさんがアートについて語りだしたり、作品の理解を深め、芸術祭会期には自主的に作品近くでお茶のふるまいを始めたり。「間にあるもの (江頭誠、2020)」という作品では、集落の人たちが「作品」となり集落をねり歩くファッションショーが実現しました。無人と呼ばれるエリアは限界集落という言葉に言い換えられます。

ハレの日からケの日へ
 芸術祭は一定期間で終わって行くお祭りのようなもの。芸術祭を「ハレの日」と捉えるならば、無人駅エリアの「ケの日(日常)」の中でこのつながりを活かしていくことはできないか。芸術祭を重ねていく中で集落の人達の変化を感じたからこそ生まれた問題意識です。そこで、今回「地域コレクティブ ARTDROPS」というゆるやかなつながりを結成しました。これまで芸術祭に参加したアーティストを軸に、集落の人達サポーター、課題(悩み)を持つ人など誰でも関われる場のこと。具体的にはオンラインを活用しながら「寄り合い」を重ね、そこに持ち込まれたアジェンダ(課題)をみなで話し合い、解決できそうなものは動かしていくというもの。アーティストを課題解決の救世主と捉えているのではなく、アーティストが抱える悩みを集落のおじさんが解決したりと、関係性もその時々によってゆるやかに変化していくことを想定しています。助け、助けられ、話し、聞き、というように、



芸術祭では作品のリサーチから制作、会期中の受付やイベントなど様々な場面で地域サポーターの方が活躍しています。

関わり方③
あなただけの企画やプログラムで芸術祭と一緒に盛り上げよう！
市民参加型の文化祭 アート・プラット / 大井川 に登録してみよう。

「ぼくらのまちじゅう文化祭」をテーマに芸術祭の会期にあわせて、街中から里山まで、お店や施設などで開催される文化的な活動や取り組みを集めて紹介する枠組みが「アート・プラット大井川」。プロ・アマ問わずおさまもOK! あなたの「得意」や「やってみたいこと」をこの機会にプログラムで表現しませんか？

写真や絵画などの作品展示

ミニ教室や小物づくりなどの体験

ダンスやバンド、コーラス発表

カフェで作品づくりワークショップ

***プログラム登録から開催までの流れ**

企画 & 相談 あなたの「やってみたい」を考えてみて。普段の活動や取り組みがそのままプログラムになるかも！ 企画の仕方や開催方法など、不安な点は事務局がサポート！ぜひご相談ください。	申込 & 登録 内容や日時、会場、参加費が決定したら登録。(登録料1,000円) プログラムは芸術祭の会期中の開催が対象となります。(2月25日〜3月21日)	広報 & 受付 プログラム実施に向けて、仲間や友人へ声掛けを。事務局でも広報サポートを実施します。 情報誌ココガネやWEBサイトでプログラムを広報します。必要に応じWEB予約を代行します。	開催 ダンス・音楽・教室・作品展示・体験・トークなど、自分の好きなこと、得意なことを企画したプログラムで表現しよう！
--	--	---	--

***昨年のアートプラットの様子**
 昨年は食や歴史、クラフトなど様々なテーマで市民が企画した約20のプログラムが開催！

***アート・プラット/大井川の目指す姿**
 『アート・プラット/大井川』とは、街中から里山まで、お店や施設などで開催する、文化的な活動や取り組みを集めて紹介する市民登録型のプラットフォーム事業。「UNMANNED 無人駅の芸術祭/大井川」の開催期間にあわせ、大井川流域地域の、小規模文化団体の育成・支援を目的に、広報協力、事務局業務代行、企画立案から実現に向けたサポートを行うことで、市民の主体的な参画を促進し、大井川流域地域における芸術文化の振興と活力あふれる地域の実現を目指します。

***プログラム登録**
 「関わり方」プロジェクトの募集やプログラム登録は、公式サイト(https://unmanned.jp)よりご確認ください。お電話での問合せもお気軽に!!

またはこちらより!

UNMANNED 無人駅の芸術祭 / 大井川
Unmanned Station Art Festival, OIGAWA, 2022

会期: 2022年2月25日(金)〜3月21日(月) [27日間]
 会場: 大井川鉄道「代官町駅」から「千頭」間の無人駅とそこから広がる集落
 主催: NPO法人クロスメディアしずおか 支援: アーツカウンシルしずおか
 助成: 公益財団法人福武財団「アートによる地域振興助成」令和3年度島田市アートによる地域づくり助成
 協力: 大井川鉄道株式会社、島田市、川根本町

【問合せ&各種申込】
 UNMANNED無人駅の芸術祭/大井川事務局 NPO法人クロスメディアしずおか
 〒427-0029 島田市日之出町4-1 コワーキングスペース C-BASE
 TEL: 0547-39-3666 | FAX: 0547-39-3665 | MAIL: info.unmanned@gmail.com

【助成】
 芸術祭サポーターも募集しています!
 NPO CROSS MEDIA
 NPO法人クロスメディアしずおか

【支援】
 公益財団法人福武財団
 アーツカウンシルしずおか
 ARTS COUNCIL SHIZUOKA

ART PLAT
 OOIGAWA 2021